

オペレッタ劇団ともしび

ピーマン大王 ひとり  
うた・芝居 他

邦<sup>くに</sup>さん<sup>の</sup>

# おはなし げきじょう

出演: 間下邦彦

上演時間: 50分

対象: 幼児、小学低学年



会場の子もたちと身体を思いっきり使って一緒に遊んだ後は、邦さんのおはなしを聞いて下さい。

子どもの創った詞、そしてその詞に曲をつけて歌います。

一人芝居「ピーマン大王」の上演。

最後は、大きな声で歌いあいます。

## イメージあそびうた

大きな畑をたがやして  
おとうさんがかけてきて 他

## 詩の朗読 子どもの詩

## 詩から歌へ

おとうさん  
せんせい  
太陽をつかまえよう

ピーマン大王 上演約20分  
ひとりうた芝居

## みんなでうたおう

世界中のこどもたちが  
We are the world  
さんぽ  
手と手と手と 他

お問い合わせ オペレッタ劇団ともしび Tel: 03-6907-2731 Fax: 03-6907-3812

〒171-0033 東京都豊島区高田1-12-17 E-mail: info@tomoshibi.co.jp http://www.tomoshibi.co.jp



邦<sup>く</sup>さん<sup>に</sup>の

# おはなし げきじょう

出演: 間下邦彦  
上演時間: 50分  
対象: 幼児、小学低学年

## プロフィール

岐阜県生まれ。  
日本福祉大学社会福祉学部卒。  
1985年、オペレッタ劇団ともしびに入団。  
現在に至る。

## 主な出演作品

「金剛山のトラたいじ他」語り、チャング  
「いのちのバトン」直七役(上演中)  
「シンプルプレイで2の寓話劇」  
オオカミ役(上演中)  
「さがせ僕らの宝島」くまのバックル役  
「ゆかいなジャック」魔法使い役  
「ごんべえかかし」  
どろぼう、おじいさん役(上演中)など

## <あらすじ>

ごちそうを食べあきたピーマン王国のピーマン大王は、「“ごっくん”  
とのどの鳴るうまい食べ物はないか」と世界中を旅してまわること  
になりました。けれども、うまい食べ物はなかなかみつかりません。  
何年も旅を続けた最後に緑ヶ島にたどりつきました。  
そこでは、うまい料理を食べるためのひとつの約束がありました。  
その約束とは…。

## なぜ、今「ピーマン大王」を演じるか

原作／住井すゑ

脚色・音楽・ひとりうた芝居／間下邦彦

このおはなしに僕がであったのは、もう10年以上前のことです。感動で心がいっぱいになりました。いつか「ピーマン大王」を表現できたらという思いも同時にわきあがったことを今でも覚えています。どうしてだろうと考えました。その結論として「人間の在り方」が描かれているから心が動いたのだと思っています。原作者の住井すゑさんは、「童話というのは純粋に人間のありようを書くものです。童話は童心で書くものです。童心というのは、人間はみんな平等だということ心です。童心というのは、ものを知らない」ということではないのです。ものを一番知っている心です。人間が平等だということを知っているという心とは、一番大きなことを知っていることです。こどもの心は何も知らないんじゃない、子どもこそ、あらゆるものを抱擁するだけの方があのです。」と語っています。

そんな住井さんの眼で書かれた「ピーマン大王」は、人間にとって何が一番大切なのかを気付かせてくれます。働くこと、権威や権力のむなしさ、人間は平等であること、人間同士が共に生きあうことの大切さを「ピーマン大王」を演じることで子ども達に伝えることができたいと思います。

脚色するにあたり、いろいろな登場人物がからみあうドラマとして展開していくようにしました。教訓的ではなく、心の動きが伝わり、それと共感したり反発したりしながら観てもらえればと思います。

表現方法としては、アカペラのうた、セリフ、人物の表情、動きとナレーション(進行役)とで、ひとりで何も使わず表現します。

## みんなであう

会場に来ている子ども達と最後にはうたいあいたいと思います。年齢等、考慮しながら選曲していきます。